明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜日及祭日の翌日休刊 明治四十二年四月十一日（日曜日） 第八十號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（三） 翠山

▲宇佐川總裁▼（二）

當時露國は東方侵略の鋒芽を内に藏し、韓國に對して少なからざる野心と慾望とを抱き居りしかば、日本が韓國に對する外交方針の實行も亦頗る困難を極めたり、而も當時の露國公使ウェバー氏は極めて外交の掛引に慣れ、烱眼敏才巧みに韓人を籠蓋せしを以て韓人中氏に親むもの漸く多く爲めに露國の勢力倨然として重きを爲すに至り從つて日本に取つて異個寒心に堪へざるものありたり。

男固より辭令の人に非ず、加も權謀胸に蟠り、術數腹に湧くが如き策士的性情は男に於て到底見る能はざるなり然るに男は此の困難なる時代に處して珍らしくも韓人の信頼を買ひ輿望を博し事實に於て公使小村氏を壓し（敢て自ら凌ぎしには非ず）明に日本が韓國に對して好意誠衷のある所を知らしめたり、之れ蓋し男が時に偏晴、時に變通時に表裏を要する所謂臨機應變の外交的手腕を用ひずして、誠心誠意胸中何物も求むるなく、淡然として事に當り、溫然として人に接する性格が自然と他を感せしめ世の同情を惹起する結果に外ならざるなり。

雖然男は決して才幹智能に乏しき人には非す、表に卓落の氣、豪邁の風を現はすと雖も其の實頭腦綿密、計劃周匝、畧を回して深遠、計を描ひて微妙、一事一端、克く首尾を貫き本末を調へ、毫も違算を見るなし唯男の才幹智能は所謂樽俎の間に折衝する外交的才幹智能にあらすして深慮遠謀終ろに事を行ひ、効を收むる才幹智能にあり、攻城野戰の武夫としてよりも籌を帷幄の中に運らす軍政家として世人の賞嘆を博する所謂も蓋し此の點にあるなり。

而して男が韓國軍部顧問として鋭意之が刷新訓練の衝に當れる時、當時の軍務大臣沈相薫は日本が韓國に對する外交方針に多少の疑を抱き、怪訝の眼孔を以て日本政府の態度を眺めつゝありしかば男は沈に向つて之が疑念を解かんと欲し一日沈を其の官邸に訪ふて日本政府の方針を語り意志を述べ縷々數千言說き盡して餘す所なかりしに沈は男の忠告に始めて從來の疑惑を啓き同時に豁然として日本政府の好意を悟り併せて男の懇情を謝し、歡喜の情措く能はざりしを以て男は衷心一方ならず打ち喜び聽て暇を告げて辭し去らんとするや、其の際座に在りて此の談話を聽き居りし當時の外務大臣金允植は痛く男の忠告に心を動かされ男を玄關に追ふて突然其の手を握り無言のまゝ再三其の手をば押し戴き同時に潸然として嬉し涙に暮れたり。

京城居留民團公文

京城居留民團告示第六號ノ其ノ三（二）

京城居留民團立京城中學校學則左ノ通定ム

明治四十二年四月七日

京城居留民團民長代理助役 林田茂七郎

京城居留民團立京城中學校學則

履歷書（用紙美濃野紙）

本籍府縣郡市町村番地族籍

誰何男（或兄弟等）

現住所……

氏名 印

生年月日

一、何年何月ヨリ何年何月迄何地何學校ニ於テ何學年修了又ハ卒業或ハ何某ニ就キ何々修業等

一、何年何月何日何地ニ於テ何々ニ付何賞又ハ何罰ヲ受ク

一、其他學校ヨリ要求シタル事項

右之通ニ候也

年 月 日

右 氏名 印

第十八條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左ノ書式ノ保證書ニ戶籍謄本ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

保證書（用紙美濃野紙）

本籍府縣郡市町村番地族籍

誰何男（或ハ兄弟等）

現住所……

氏名 印

生年月日

右者今般御校ヘ入學御許可相成候ニ付テハ其ノ監督保證ノ責ニ任シ御規則等堅ク相守ラセ申スヘキハ勿論退學轉學等一切ノ事件ハ總テ保證人ニ於テ引受ケ申スヘク候此段保證候也

年 月 日

本籍府縣郡市町村番地族籍職業

現住所……

右父（或ハ後見人等）

保證人 氏名 印

生年月日

現住所……

保證人 氏名 印

生年月日

京城居留民團立京城中學校長氏名殿

第十九條 保證人ハ丁年以上ノ者ニシテ其ノ一人ハ現ニ京城居留民團區域內ニ居住スル者タルヘシ但シ學校長ニ於テ保證人タルニ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第二十條 生徒入學ノ際ハ保證人ノ內一名ハ必ス附添ヒ來校スヘシ

第二十一條 保證人死亡又ハ轉住等ニ依リ保證人ヲ變更スル必要アル時ハ二週間以內ニ保證人ヲ定メ更ニ保證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 轉學又ハ退學セントスル者ハ願書ニ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上保證人一名登校シテ學校長ニ願出ツヘシ

第五章 賞罰

第二十三條 學力優等品行方正等ニシテ他ノ生徒ノ模範トナルヘキ者ハ之ヲ旌表ス

第二十四條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

一、正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上欠席シタル者

二、出席常ナラサルコト甚シキ者

三、引續キ一箇年以上欠席シタル者

四、學業劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者

五、性行不良ニシテ改善ノ見込ナキ者

六、二箇月以上授業料ヲ納メサル者

第二十五條 校規ヲ犯シ命令ニ背キ其ノ他生徒タルノ本分ヲ守ラサル者ハ其ノ事情ノ輕重ニ從ヒ學校長ハ之ニ懲戒ヲ加フ

懲戒ヲ分チテ譴責、謹愼、停學及放校ノ四種トス

（未完）

佐倉宗吾

（五十二） 眞龍齋貞水講演

そこで一同の者を、皆な御小屋の內へ入れる譯に行きせんぬから、頭立た者を、御喚込みになりますと、一同は平身低頭して、大和樣の書齋の御敷居の處へ手を突いて居ります 大「是は御一同、何事なるか」○「恐れながら申し上げる、既に承りますれば、今朝は御領分の百姓、殿樣御登城の御駕籠脇に、何事か訴らんと致せし由、左樣なる御心配の中に、吾々一同打揃へ、貴下樣へ御願ひに出ましたのは、餘の儀にあらず吾々共は、御先代殿樣が、武藝の心得ある者を抱へたいと仰せられたに依て私は一刀流を以て御奉公を致す、甲「私は柔術を以て御奉公を致す 乙「私は書跡指南として御奉公を致す 丙「私は馬術を以て 丁「私は水練を以て 戊「私は[illegible]を以て 巳「私は[illegible]を以て「皆な御[illegible]し置かれ。當殿樣に至りましても、何事か御用向を蒙るやうな譯でござる」大「そりや當然の事ぢや」○「然る所、吾々の子供が、御譜代の御方々の御子さんと交りますと、其方の親共は、浪人を致して居つた者ではないか、破れたる扇を以て、高砂の謡を唄ひ、人の門邊に立つて、合力を受けた者でないか、身分いやしき者であるなどと嘲弄されるより子供は殘念に存じ、幼な心にも、先方を斬つて仕舞うなどと腹立てます、それを鎮め諭ひ聴かせまして、左樣な事はないと申しましても、子供の事ゆゑ既に一度いはれし事を、忘れ兼て居るやうな次第、畢竟斯樣な御抱席の者を、御譜代席の子供衆が、御排斥なさると云ふ事に、親御達が常に抱席の奴等は、この間まで人の門邊に合力を受けた者くらゐな御話をなさるから、御譜代席の子供衆が聞いて、やはり親達の云ふ事を、良い事と信じ、抱席の子供等に對し、不禮の悪口雜言を仰つしやるものに違ゐござりませぬ、それを一一、子供に諭ひ聴かせ、その憤りを鎮めまする吾々親共も、餘り好い心持ではござらぬ、今日御訴へ申さうか、明日御願ひに出やうかと、是まで思ひ念ふて耐へ居りましたが、既う今日に至りましては、迚も我慢が出來かねまして、一同打揃ひ、御願ひに出ましてござる、何卒御譜代席の方々が、今後左樣な事、仰せやう、下ふらぬ[illegible]」大「も、それは甚た宜しく[illegible]、然らば譜代席の者を喚んで、諭ひ聴かせるであらう、暫時其方共、控へ居れ」と仰つしやつた、一体この事の起りと云ふものは、子供の事から許りでない、やはり譜代席の者が御抱席の者を、下目に視て居る所から、御抱席の者が憤慨して、子供に事よせ、斯る御訴をして來たので、子供が斬殺てるのでない、大人が大人を斬つて仕舞うと云ふやうな事が、其內に含んで居るに違ゐない、左もなければ、子供の喧嘩くらゐで、斯樣に打揃つて、麻上下を着け、一身の進退にも關する事を、輕忽に與ひ出るなど事はない、斯りや其中に、事情があると思召されたのでございます、それですから親が子供を仕立てると云ふ事はむつかしいもので今日のやうに、學校が盛んに成りまして、教育家の先生達は、能く子供を数へて下さるが、其子供が、家へ戻つて來ても、兩親はやはり、其學校の先生同樣な心持でなければ、立派な者は出來や致しませぬ、學校の門を飛出すと、籠の中の鳥が、羽を伸して飛出したやうに、表へ來てはわんぱくを云ふ、自家へ歸つては、學校で数はる十の七八は忘れて仕舞うやうに育てゝはいけない、また家へ歸つて來ると、貧乏人の親爺は「ヤイこの小悪鈍ッ、悪頭々々してゐると踏殺すぞ」なんて、女房を取捌かまへて噉鳴る、子供は之を聞いて、良い事と思ひ表へ出ると「悪頭々々すると踏殺すぞ」なんて云つて、子供の中で威張る、親が噉の頭をごやすと、それを見て子供は、良い事と思ふから、他所の子供の頭を打捶ぐ、是れ皆な親が悪いから、子も悪く成るのでございます、自分の子を立派な者に仕立て度と思つたら、やはり親からして、言ふ事、行ふ事を愼まなければなりませぬ

公告

一 塩田結晶池用平石 壹萬八千平方坪

此重量參千噸

入札保證金見積價格百分ノ五以上

採取地 黃海道豊川郡遊山面係岩浦及同道長淵郡薪北面東嶽浦

運送地 採取地ヨリ京畿道仁川府朱安面度支部臨時財源調査局朱安出張所

受渡地 度支部臨時財源調査局朱安出張所

右採取及運送請負ヲ入札ニ附ス希望者ハ本局又ハ鎭南浦稅關ニ來リ入札人心得書、契約書案、石標本及現場等熟覽ノ上四月十六日午後一時本局ヘ入札スヘシ即時開札ス

但書留郵便ヲ以テ入札スル者ハ營業證明書、經歷書及保證金ト共ニ送付ヲ要ス

此ノ契約ハ度支部臨時財源調査局ニ鈴木穆擔任ス

隆熙三年四月九日

度支部臨時財源調査局

廣告

京城新報

株主に代り東拓總裁に告ぐ

社債募集の不可能

韓國政府が株金の代償として提供したる驛屯土の評價に就て余輩は會社が約一二百萬圓の損失あるを以て之を挽回するに韓國政府の持株數を減ずるか或は更に驛屯土を提供せしむるか二者其一を選まざる可らずと警告したる事が端なく反響して祖國に於ても韓國に於ても問題となりて世の注意を喚起するに至れり、之に就て會社の當事者は極て曖昧なる辨解をなせるのみにて未だ株主及世人の惑を解くに至らざるは甚だ遺憾の事なりとす、

元來東拓會社の事業たるや、其目的とする所は極て良好にして帝國の韓國經營上最も必須の事業たるなり、然れども拓殖事業は最も至難中の至難なるものにして、日本人に取りて最も經驗少き事業なり、而して此至難の事業を遂行し得れば日本人が海外に於て殖民事業に成功するの技倆あることを世界列國の前に示すことを得るなり、若し失敗するに於ては日本人は殖民事業を遂行するの能力なきことを世界に自白するものなり、凡そ如何なる事業と雖も其局に當る人物の選擇を最も肝要なりとす、勿論組織及資本等は重なる要素なるも之を活用して其事業を遂行するとせざるは人物の如何にあり、然るに東拓會社は果して其人物に適材を得たるや否や、勿論宇佐川總裁は曾て韓國に駐在せられたるを以て其事情に暗からず、吉原副總裁以下の人々も學識に於ても從來の經歷に於ても官吏中の逸材たるべし、然れども拓殖事業を經營するに適材なりや否を疑はざるを得ず、余輩は不幸にして諸氏は日本の殖民事業を遂行するの技倆あるや否を世界列國の前に試驗するに就て寧ろ落第たるの傾向あるを認むるなり、

余輩の算を以てすれば驛屯土に於て東拓會社は二百萬圓を損せり而も此損失は免るべからざるものに非ずして少しく注意すれば事前に於て能く防止することを得たるなり聞く所に依れば驛屯土の價格を決定する際に於て會社側と韓政府側との交渉は頗る困難なりしと、併し如何に其交渉が困難なりしとは云へ、創立委員の中には宇佐川男の如き韓國通も加はり居りたるに今日の如き失態を招けるは甚だ怪訝に堪へざるなり、驛屯土の損失にして如何なる方法に依りてか塡補せられざるに於ては三十萬圓宛八ヶ年間の政府補助金は無意味に烟消し去るなり、斯る狀態にては到底十倍の社債を募集すること能はざらん、日本內地に於て募債する場合に於ては或は此等の損失を隱蔽するに於ては多少の應募者なきに非ざるべきも、內地今日の金融狀勢より見れば近き將來に於ては到底應募の餘裕なかるべし、然らば歐米に於て募債するの外なし、歐米に於て募債するとせば特許會社にして三十萬圓の補助金あることとを表示せざる可らず、然るに余輩の言ふ八年間の補助金烟消を隱蔽して募債に成功せんことは到底不可能事たり、加之會社の經費が非常に多きを以て余輩の算を以てすれば到底數年間は利益配當はなし得られざるべし、而て總裁には軍人あり其以下には是迄殖民事業に何等經驗なく曾て算盤を手にしたることなき官吏出身の人を以て充たさる、余輩より之を見れば到底營利の事抔には不適任なる人物多からん組織の點よりすれば拓殖事業に最も必要なる鐵道を持たざるなり、以上記する所を外人にして洞見するに於ては會社の發行する社債に安心して應募するの考は起らざるべし、果して社債にして募集すること能はずとせば現在拂込れたる僅々百七十五萬圓を以て事業を經營せざる可らず、金融部の貸付資金は五十萬圓を控除すれば經營資金は百廿五萬圓のみ而て金融部の貸付資金五十萬圓も普通小銀行の貸出し居る半額にだも滿たず、亦現金百二十五万圓の小資金を以て移民水產殖林抔を經營せんとするも到底營し得らるべきものに非ず、玆に及では如何に會社の事業目的が善良なりとも成功すること覺束なし、從て前に述べたる如く日本人が殖民事業を遂行するの能力なきことを遺憾ながら世界の前に自白せざるを得ざるに至るなり

余輩は此以上多くを云ふに忍びず、宇佐川男たるもの總裁の重任を負ひたる以上は須く余輩の言に聞きて大に悟了せらるべき也、

東京電報

▲間島派出所役員任命　鈴木新太郎統監府間島派出所事務官に太田厚同じく技師に山本定冏粕谷良三郎同じく通譯官に任せらる

▲要塞參謀會議　各師團要塞參謀會議は五月五日より三日間開かる

▲大屋局長歸任　鐵道管理局長大屋權平氏本日歸任さる（十日發）

ゝあり

●露國極東太守　露都來電は鐵道以外の滿洲政治は外務省に移りウヰッテ氏と東清鐵道總裁ウエンツエリトー氏の風說を傳へり

●對滿政策所管　露國の對北滿政策は全部外務省に一任し鐵道經營は大藏省の管理に屬すべしと

●廣東人の態度　北京在住の廣東官吏は過日廣東會館に會議を開き日本との澤嶋、葡萄牙との澳門境界劃定問題に就ては寸界だも失はざるを望む旨外務部宛强硬意見書を提出するに決議せりと

外報一束

●日本公債景氣　倫敦株式市場に於ては日本四步利附及び四步半利附公債多大の買賞ありたり

●英國の在野黨　英國下院在野黨は追加ドレットノート型戰鬪艦四隻至急建造の要求に聲援を與ふる爲急速に一大國民的運動を開始しつゝあり

●日本艦隊歡迎　米國海軍省は桑港にれいて日本練習艦隊を歡迎せんがために費用を惜まず準備に怠りなし今回の訪問は地方的に非常なる興味を惹起しつ

●日土開交反對　コンスタンチノープルに於ける露國の手筋は日土間外交關係の創設を妨碍したりとの說あり

雜報

●國稅未勘金の整理　舊官制時代に於て郡守及び府尹が國稅を着服して國庫に納入せざる金額約四百萬圓に及びたるが度支部は從來此等貪吏に對し之が納入を命ずるも未だ此れを整理するに至らざるを以て今回此れが整理に關する法律を制定發布し且つ度支部の命令に不服のものは再審查をなす事とし臨時國稅未納金整理委員會なるものを設置して此れが整理をなす事とせりと

●仁川問題居留民會　仁川有志の發起に係る築港問題居留民大會は愈々來る十七日歌舞伎座に於いて開かる筈なるが昨日は役員廿二人を世話役とすることに就き夫々依賴狀を發したるが今回の居留民會は仁川市民全部より同座に集り決議をする筈なれば定めて盛況を呈すべく又市民一致して運動することゝなれば同問題も決行せらるべしと

●世界周遊團の來韓　トーマスクック社の催に係る世界周遊團体外人十名は上海より大連、奉天を視察し安奉線に依り來る廿七日來韓卅日京城を出發し釜山を經て下關に向ふべしと其案內者は同社パークン氏なりと云ふ

●平壤の家賃引き下　平壤は生活狀態に比し家賃高價に失し從つて不景氣の折柄移住者を吸引する能はざるのみならず從來の在住者も[illegible]せしむるの虞あるより今回有志家間に於て家賃引下げの協議をなし家主とも交渉したれば近々の中に實行すと

●東拓幹部動搖　目下東上中なる東洋拓殖會社理事井上孝哉氏は自巳が現職に不適任なることを發見したるを以て五月總會決了後に於て辭職し秘書役長嶺八郎氏は現職に甘んぜざるを以て小松原文相を介して目下轉職運動を試みつゝありと云ふ

●大韓醫院長後任　佐藤進氏大韓醫院長辭任以來未だ後任者決定されざりしが愈々菊池軍醫監後任に內定されたり

●東拓會社內紛　東洋拓殖會社が其成立以來既に長日月を經過せるに拘はらず會社は未だ何等の事業に着手するとなく重役等は徒らに巨万の俸給を貪ぼりつゝあるより早くも部內に紛擾を生じ其前途を悲觀するもの多しと云ふ同社の事業の如きは之を國家的事業と稱するを得るものにして從來英國の諸殖民地が繁盛を招くに至れるは此の如き事業の成功に基づくものなれども東拓會社の現狀は佛國の殖民政策が失敗に歸したると同一の原因を造りつゝあるものなり慨歎に堪へざるとならずや（萬朝報）

●內部の法令審查會　一昨日開會したる內部法令審查會は警察及び痘苗に關する法令案其他二三を審査せり

●行幸に關する敍勳　韓皇の南西行幸に關し日韓人官吏に敍勳及び紀念品下賜は近日發表さるゝ事となりたる由にて之が勳章を下賜さるゝは主として統監府員にして韓國側官廳官吏は少數なり

●咸鏡恩賜紀念桑園　咸鏡南道にては行幸紀念の下賜金を以て桑園を設くる事に決定したる由にて尚此れを基本として適當の時機に紀念蠶業傳習所を設置する方針なりと

●善行者へ褒賞下賜　從來韓國に於ては內部大臣が善行者を褒賞する例無かりしが今に義捐金醵出其の他の善行者をば內部大臣より褒賞する事とせり

●法學協會評議員會　法學協會にては九日午後四時評議員會を開き會務の擴張に關して凝議したりと

●法官任用令發布　九日付勅令を以て法官任用令を發布されたるが判檢事の資格は司法試驗の合格者、隆熙元年法律第八號裁判所構成法に依り設置されたる裁判所の判檢事の職に在りたる者法官養成所卒業生及外國大學の法律科卒業生なりといふ

●釜商議員選擧終了　釜山商業會議所議員撰擧は愈々去る八日決定し下の諸氏當撰したり

桐岡金三、中村俊松、阪田文吉、大池忠助、正木德松、五島甚吉、長谷川鶴太郎、山本總一、石川眞平、迫間房太郎、堀越太郎、岩崎新平、一宮萬次郎、豐田福太郎、足立瀧二郎、井谷鐵三郎、野口弘毅、[illegible]八米藏、磯谷喜三郎、[illegible]字三郎

●儒生の彈劾建白書　十三道の儒生金東弼、俞大成、宋鎬淵等二十余名は去る八日內閣に向って宋秉畯の太子少師に對する彈劾的建白書を提出したりと

●各學校教員の任用　水原農林學校長の推薦に係る同校卒業生中十名は今般甲種普通學校本科訓導に任用されたるが尚漢城師範學校速成科及講習科卒業生は公立學校本科副訓導に任用せられたるに依り十二日學部に出頭、辭令を受けて夫れ〳〵任地に配置さるべしといふ

●獨乙領事の送別會　來る十五日午後六時より泥峴[illegible]樓に於て今般清國へ轉任したる獨乙領事ウエンチユー氏の爲めに石塚參與官主催の下に送別會を催ほす筈なるが尚當日は同國總領事クリユーゲル氏又語學校教授ボリヤン氏並びに參與官等列席の筈なり

●密陽煙草の好成績　密陽に於ける昨年度煙草の收穫總量數は一万三千四百六十三貫餘にして此見積金一萬三千四百六十三圓餘なり尚昨年末より本年四月七日迄に賣却せし葉煙草總量數は一千二百九十九貫九百五十匁にして此價格一千五百八十圓五十七錢なりしと云ふ

●練習所證書授與式　警察官練習所に收容中なりし日本人巡査廿九名の短期教習は今回終了し昨日修業證書授與式を擧行せり

●地方費法實施と民情　地方費法實施後に於ける民情を聞くに從來各道各郡に於ては種々の名義にて人民より金品を徵收したるも之れを一定の法規に依りて定むること無かりしを以て人民は徵稅者に向て一種の疑惑を挾み居たるが今般發布されたる地方費法は徵稅の精神及其使途を明にしたるを以て民情頗る良好なりと

●兩事務官の出張　鐵道管理局事務官村瀨鎌次郎氏は營業事務視察の爲め京釜沿線へ同矢野菊松氏は京城日報主催の觀光團と共に下の關へ向け何れも本日出張したり

●俳人の滿韓觀察　海南新聞俳句擔當記者森田留死久（故正岡子規子高弟）及び渡邊箕田（愛媛縣多額納稅者）の兩氏は滿韓旅行の途次來る十四五日頃當地に來る筈也と

●龍山教會所落成式　龍山淨土宗龍山教會所は此の程假會堂建築落成せしを以て本日開堂式を兼ね入佛式を執行する由

●本日の集會

▲京城日本基督教會　旭町四丁目の同教會にては午前九時より日曜學校同十時半より石原牧師の「イースタアの起原」午後八時より同牧師の「信仰難」と題する說教あり

▲京城基督教會　日の出町の同教會にては午前九時より日曜學校同十時より今井牧太郎氏の「神の聖靈」午後八時より松本雅太郎上田昌作兩氏の傳道說教あり

▲メソヂスト教會　旭町二丁目の同教會にては午前九時半より日曜學校…師の說教あり

●敍任辭令

統監府特許局審查官　白井良一
東京、京都、大阪、名古屋へ出張を命す

統監府技師　林　駒生
東京、京都、大阪、福井、愛知及石川縣へ出張を命す

公人私人

▲須藤素平（臨時財務監督局事務官）九日入京不知火旅館
▲今川唯一（統監府營林廠技師）同上天眞樓
▲西村守一（鎭南浦民長）同上不知火旅館
▲大塚榮太郎（安東縣民會議長）同上巴城館
▲飯牟禮實藏（韓國陸軍武官學校教官）同上三日月旅館
▲加藤又次郎（新任近衛騎兵聯隊附）本日赴任の途に上る
▲三宅農商工部事務官　海州地方に出張中なりしが一昨夜歸任

近事片々

▲花には嵐月には村雲兎角世の中は思ふに任せぬ此騷擾の好時季に强風多く
▲漢城の市街は强風の爲に黃塵
▲頗る難也何とか撒水の方法を講ず
▲灰の如き塵埃を頭上より沐び
たまつた者に非ず撒水車を設くる
▲春色長閑なると共に漢城の政
に長閑なり例の策士連も失張り油
▲大韓協會一派は痛く現閣に嫌
聞しが此頃は存外に大人しくなり
▲完用君得意の懷柔手腕以此一
歸へりとの說あるも未だ俄に信ず
▲併し彼等の重立ちたるものも
すれば强ち風說のみとも信ぜられ
▲斯くては漢城の政客は概して
籠中のものとなれるか除す所は一
▲亡命者中の悧怜者愈青浴迄が
めて働くに至れりと借も世の中は
▲國民新聞の移民論は隨分得手
會也如何に政府の辨護役とは云へ
▲米國其他の移民を牽制するを
其替りに滿韓に移民を集るとは甚
▲滿韓移民集注も何もあつた者
だ其氣振りもなし殊に統監は反對
▲英國は邏羅との條約に於て治
撤去し其替りに馬來半島の讓渡を
▲英國外交は何處迄も花より團
國の大にてし尚汲々領地を得んと
▲之を思ふて帝國の外交を見る
き事多し何ぞ更に大膽なる外交
▲一韓國保護の爲に大政治家と
我も許す伊藤公が鞠躬尙は足らざ
▲函館の春も暴風多し頃者東北
靑森附近に於て汽車が吹き飛ばさ
▲若し其暴風にして半島に來り
鬪や風紀の墮落やを一齊吹飛さば
▲京都に人力車上に毒を仰いで
る男女ありと隨分變つた情死のや

●中學校の建築工事　獨立門外京城中學校の建築工事は先般來より該工事に着手し居たるが[illegible]の施行工事を取急き居れるを以て本月末迄には竣工すべしと云ふ

●全南道土地放資額　全羅南道に於ける邦人の土地放資總額は大約左の如し

區別	町步	一反單價	總價額
宅地	五七	五〇	三四五六〇
水田	九、一九二	廿五	二、二九八、〇〇〇
畑	四一、四五八	八	三、三一六、七二〇
陳田	二七三	二	五、四六〇
居留宅地	一〇〇	三〇〇	[illegible]
合計	五二、〇八二		[illegible]

雜報

●仁川居留民會　仁川有志の發起に成る居留民大會は愈々來る十七日開會の筈なるが昨日は役員協議の上右の事に就き夫々依賴したるが當日は仁川市民全部より同所に集り決議をする筈なれば定めて盛況を呈すべく又市民一致して運動することなれば同問題も決行せらるべしと

●世界周遊團の來韓　トーマスクック社の催に係る世界周遊團体外人十名は上海より大連、奉天を視察し安奉線に依り來る廿七日來韓廿日京城に出發し釜山を經て下關に向ふべしと其案內者は同社パークン氏なりと云ふ

●平壤の家賃引き下　平壤は生活狀態に比し家賃高價に失し從つて不景氣の折柄移住者を吸引する能はざるのみならず從來の居住者も[illegible]同有志家間に於て家賃引下げの協議をなし家主とも交涉したれば近々の中に實行すと

●中學校の建築工事　獨立門外京城中學校の建築工事は[illegible]該工事に着手し[illegible]を以て本月末迄には竣工すべしと云ふ

●全南道土地放賣額　全羅南道に於ける邦人の土地放賣總額は大約左の如し

區別	町步	一反單價	總價額
宅地	五七	五〇	[illegible]
水田	九、一九二	廿五	二二、二九八、〇〇〇
畑	四一、四五八	八	三三、一六六、七二〇
陳山	二七三	二	五、四六〇
居留宅地		一〇〇	三〇〇
合計	五二、〇八二		一一、九五九、七四四

●新曲寶草　百湖子作

左の一篇は曾て湖西先生の新作にして本月末に開かるべき長唄嗜好會の例會に於て芳村伊三郎の節付けにて會員猷氏の合唱あるべき筈なり

面白やなぞもしろの畑ぐさ、此草夏を忘れ草させる手に立ちなし霞の袖に雲の波、浮きつ沈みつ思ひ草、いつか心も畑とこと、晴れて憂の玉菜草とは誰なされ、白梅の香りゆかしき羅錦繡菅井に秋風人のよしとよくみしみ芳野の其の山櫻花、敷島の大和心の咲き匂ふ朝の光り照りわたる紅染の花さつき鍬凉しき薩摩ぐさ、ぬれて色こき萩桔梗高雄立田の山紅葉の情のしもにいたす紅葉の錦唐にし多きもりを草木へ春にしられぬ花ぞ咲く、雪のあしたも月の夜も此草愛ぬ人はなし粹も不粹も上戸も下戸も畑くゆらす樂しみのひまにも細草高き低きの隔てなく中にも別て草彌つき〜に此草阿賀に取組む國の寶草、昔も今は變れどもかはらぬ御代を大君の惠みの露にれひしける草のたゝきとぞめでたかりける

●朝鮮の質屋業　▲存在の不必要（一）

韓國に於ける質屋業者の中には專ら日本人のみを相手にするものと韓人のみを相手にするものと又日韓兩國人をも相手にするものとあつて日本人專門の質屋は居留地に多く韓人專門若しくは日韓兩國人相手の分は城內到る處の場末若しくは韓人の居る所而して營業者の百分の九十九までは日本人若しくは日韓人の營業に係るもので純粹なる韓人の營業者に至つては殆ど絶無と言つて可い位である尤も四五年前までは韓人の營業者も大分あつたやうであるが頑冥なる彼等の多くは質屋に對しての約束を履行せざるのみならず質物の期限を經過したる質物に對して流質したる場合には非常なる暴言を加へ動もすれば腕力沙汰にさへ及ぶやうな事が少なからぬので今日に於ては殆ど其跡を絶つた尤も日本人の質屋でも今日の如くならざりし明治二十七八年前後には韓人と同樣なる迫害を受けて營業を中止したものも少くなかつた而して經營困難なる過渡時代に於ては營業者も紛々と且つ金融緩慢であつた為め營業者の收益も多く京城、仁川に於て之が為め勘なからぬ金子を溜めた人もあつたが今日は營業者の數も從前に倍加したるのみならず尚ほ益々增加の傾きある程で其收益は益々少なく四五年前に月五百圓の貸出しをなしたる者も今日は百圓內外の貸出しに過ぎない有樣となつた蓋し近來何れの地方にても質屋業者の增加するは商業不景氣で他に資本を用ふる途なく銀行に預け置くより幾分か有利であらうと云ふ當推量と一は不景氣の際質屋業は却つて有望であらうと云ふ誤解に出でたものであるかと思ふ併し事實は甚だ然らずで或程度までの不景氣は或は質物の頻繁を來すであらうが今日の如き極點の不景氣に至つては贅澤品は云はずもがな鍋釜茶碗の如き日常の必要品とても既に已に飛散し盡して復た深く質屋の必要を感ぜざる場合となつた左れば今日の營業者は質屋てふ好題目の下に或る他の便宜を得るかは知らないけれども單に質屋としての營業は今日の處何等の面白味もなからうと思ふ

●床屋の主婦（一）　▲菩薩か夜叉か

兎角世間は裏の裏の互ひに裏のかき競べなればどちらがどちらが佛か鬼かうんな詮議はれ預りとして聞いたまゝを書きつゝらんにさても京城は本町七丁目の〇〇床と云へば讀者も大概は見當の付きさうな理髮床なるが先づ〜事の順序として二月頃から書き出すとせう抑も同床の主人といふは川上窓一（二十九）といふれ人好しにて惡るく云へば男らしくもない意氣地無しなるが天の攝理は妙なものにて噂のれフチ（二十）は顔こそ尋常なれ心は夜叉の角どころか異逆達へば亭主を取つても食ひ兼ねまじき頗る喰呑な婦人なりけり斯れば此世は異逆さまの女尊男卑のそこどころでなく亭主は何時も婢の禪にグングルグルの日蔭ものにて太きな息も吐きかぬるといふ狀態なりしが何んぼ二十世紀の今日ぢやとてそれでは當人よりも世間が許るさぬ溜ちやん些つとは確乎しろやと友達づくに忠告をする人もあつたがさりとて決然三行半が書ける程の男にもあらねばウゝのスーのと延べくるうちれフチの專制はます〜酷しく取つて食はぬばかりの權幕なる故流石のご亭も堪りかねてか「私はこれから身体一つで大連へ飛び出しますからあとの事はよろしく」と知人に賴んで京城を飛び出したるは本年二月二十二日頭の夜中なりけりかくて窓一はバリカン一個を命の綱に遙る〜大連なる知邊を訪づれて身の振り方を相談したるも當時大連は不景氣の絶頂にて皆々青息吐息の折柄なればうれどもはしき雇はれ口も見付からず斯くては何時まで居喰ひもならずさ再び慣れし京城さして立ち歸りしは三月十四日出の事なりけり話頭一變妻のれふぢは夫の窓一が家出せしより家財萬端を引き纏めて實父なる實來町何番戸箱井呂之助（五十八）方に同店するとは世間の手前實は其處此處と宿り歩くうち何時しか浪華節語りの何とやら云ふに出來合ひて不義の快樂を貪り居りしがやがて同一座も茲京城を打ち上げて釜山へ赴くこととなりしかばれふぢも其儘同座に連れ添ひて何處までもど附きまどいしが思ふに委せぬ父の迎ひ「ソウイチカヘルハヤクカヘレ」の電報に胸ギックリ流石に愴惶として引き返へしたるは十五日の午後八時頃窓一の歸宅に遲るゝ事一日なりき

●萎れ二葉

新町第一樓本店の二葉女郎と云へば生れは伊豆の伊東なれども色は白く豊頬と生れ付いたが身の因果にて降るアメリカのジョンソンとやら橫濱あたりの外人に思ひを掛けられ惜しからぬ袖端らせしは早や五つとせの昔なるが何時しか韓國に流れ込みて昔を今になすよしもなき女郎づとめの浮き境界は僅かに偶ぶ金の入齒に浮かれ男を引くのみなりけりさる程に茲に初會のそも〜より淺からぬ契りを結びしは東京生れの日東勸平とてツイ此の程まで壽座に興行中なりし合同團の新俳優なるが二葉の身には豫ねてより恐ろしき病毒のある事とて短き春の夜のむつごとも明くれば夢の現身にアラ不思議や怪しやな腰は宛然くの字形の步行も思ひのまゝならぬ日東が姿も氣の毒ながらやがては二葉も入院の憂き目斯くては見ても又の逢瀨も覺束なしとや折角芽ぐんだ二葉の色も日に增し萎れ行くとなん

●時事俳評　ちはる

▲統監政治の犧牲
一本の桃に蹈まるゝ畑かな

▲輿論と統監政治
持ちようを言はれて重き牡丹かな

▲李容九の歸來
蝙蝠や昔すがたのない屋敷

▲韓屯土の欠損
怠りを秤にかける茶摘かな

▲監獄署の新築
螢籠夜毎の闇に光りけり

▲列國の製艦熱
折箱のいかだ流しや彌生川

●殺人犯捕はる

仁川署阪下今井石川の三刑事は一昨日午後八時半頃同地花町二丁目土方青木力に於いて新瑞興にて二人の土方を殺害して逃走し來れる犯人石田頑一郎（二十九）を逮捕したり

●擲翠の新妓

大坂產當田ツル（二十八）は一郎同產辻ジウ（二十三）は二郎橫濱產荒尾キミ（十七）は三郎同產鈒持テウ（十六）は四郎と稱して何づれも菊翠より現はれ出づ

●治療費が一圓

中署管內河橋結趙重命（三十）は一昨日午後七時頃京城北米倉町四十二番戸居住左官職玉廣長吉方雇人金永章なるものより日雇賃金受取方通辯の依賴を受け前記國廣方に至りて金が日雇賃金の請求をなしたるに言語の不通より爭論を惹起し趙は國廣のために前額部に打撲傷を負はされ其筋に訴へ出でたるが右事情判明し双方加論の上加害者より治療費一圓を出して取濟みとなれり

●退韓處分者の逆戻り

岐阜縣養老郡上多度村大字小倉六十一番地平民栗田德次郎（三十八）と云ふは昨四十一年四月十七日平壤理事廳理事官より地方の安寧を妨害するものとして同日より二ヶ年間の韓國在留禁止を命ぜられ一旦內地に歸國したるものなるが此頃に到り再び渡韓し京城大平町一丁目百五番地に住居を定め土木請負業に就事し居ることを發覺し昨日檢事事務所に送られたり

●自轉車の衝突

仁川栶峴七統二戸金石根（十九）は一昨日午後二時半南大門通三丁目土佐紙合名會社前街路を自轉車にて通行の際前面より急速力を以て進み來りし京城南大門通三丁目二十一番戸丁字屋雇人池田賢吾（二十）の自轉車と衝突し双方共轉覆して車臺に多少の損害を受けたるのみにて負傷せざりしは幸ひなりき

●短氣は損氣

本町六丁目の丸市場內野菜商池田光藏（三十三）は昨日午前七時頃淸國人吳富貴（六十）なるものより野菜を買入れたるに其量一貫目に三百目程の不足を告げたるより直ちに該支那人の度量衡をしらべ見たるに全く不正の度量衡を用ひ居たるより怒り出し度量衡を折り毀して五十錢を支拂はせらる

●龍山の藝妓芝居

既報の如く龍山藝妓芝居は昨今の兩日間同地龍山座に於て開演中なるが頗る好人氣なりと尚ほ同座へは入違ひに新派改良團の一行乘込み出

●壽座の義太夫　▲未曾有の好淨瑠璃

既報の如く大坂若手義太夫一座は昨夜當地に乘込み今夜より壽座に於て花々しく開演の筈なり一座の興打の一昇は十數年間攝津大掾の門下にありて練磨したるものにして其語り振り大掾に彷彿たりと尚ほ今夜は二十錢均一とし語物は左の如し

御祝儀寶の入船　竹本入登太夫
御所櫻三段目　女　竹本照玉
奧州秀衡館の段　竹本錦美太夫
苅萱三段伎光の玉　竹本定太夫
日吉丸三段目　竹本小富士太夫
義經腰越狀の段　竹本梶登太夫
三勝酒屋の段　竹本一昇
立三味線　鶴澤助六

●花柳巷談　似合の花較べ（二）　伊豫之守

▲桃太郎と勝丸　年は勝丸の方四つ計り上の方なれど、椽下の掃除番にならぬと云ふ背の至つて低い處と踊の甘い處は慥かに好一對に御座候、桃太郎は容姿決して優なるに非ざるも溫順なる性質と踊りの巧妙なるとは花月樓の若手連中恐らく彼れの上に出づる者無之、容貌と愛嬌とを以て賣る能はざるも藝妓を見るの明ある人は何人も彼を稱揚するに吝ならざる者と存候、猶華亭の流行兒勝丸は根が田舍仕込みには候得共藝に於ては頗る器用なる方にて三味線は總べてに一通りの伎倆を有し、踊りは其最も得意とする處に御座候、相形の木地は勝丸の方勝りたるも、造作は桃太郎の方優れ居り候、併し兩君共決して別嬪と云ふには非らず、此の點に於ては兩親を怨むの外なきも、天性怜悧にして溫顏なるは共に美質と賞すべく候れ次はたゑんに三太……

●韓語獨習

日語	韓語
何時、御出になりましたか	オンヂョイ、オソツソ
今月（初）十日に來ました	イータル、チヨーイヨルフルナル、ワッソ
四月に、歸國なされますか	サーウオーロイ、フハングークー、ハシヨ
五月に、なりましよう	オウオーリー、トイカエッソ
月色が、宜しい	ウオルセーキ、チョッソ

◀平民文庫▶

▲鳳閑寺は近來更になつて居ない現に此の間の如きは信者が歸つてから例の蛸坊主が奧の方で怪しい女の信者と何事か話して居つた（旭町みの字）▲龍山の村上とかいふ廣島生れの禿頭よ君は能く人の惡評をするが少しは自分を省みるが好い（眼鏡子）▲鐵四郎君よ君は渡韓したさうだね知らぬ間ちやなし一寸知らして呉れたらよからうに、併し亂暴の性質が鎭つたとかで結構だ（サウ生）▲妻君が店先に座つて居ると何だか這入りにくい本町通りに二三軒ある（駆足小僧）▲近頃官吏が日本に行くのが流行する司法官連も打揃ふて出發した（在野法僧）▲十全病院の評判は近來却々宜い蓋し院長さんの勉勵の結果か（右大臣）▲長谷川町に近頃立派な料理屋が出來た長谷川町繁榮の一素因となるべし（居留地紳士）▲本町通りへ電氣の大きいのを點けたら宜からう泥濘筋の美觀を添へること受合だ（ときわ）▲小便無用の札が貼つて居つても近所に人が居らなければ必ず放尿するは云ふ迄もない寧ろ大小便許可と大膽に札を貼つたら何うか（玄幽生）▲明治町敷島の廣告が振つて居る「肴四皿ビール一本並に頗るハイカラ的の別嬪付で金一圓」と（安物好き）▲自轉車で泥濘を走るさ度好い（愛輪家）▲京城にも近來納豆屋が出

崎新徳 用燃料 無烟煉炭

特色 用途 ……價格低廉 汽罐、暖爐、商用に適す

● 周防徳山海軍省煉炭所東隣

谷……無烟煉炭工場

▲無料紹介欄▼

人事部

求妻 女人血統正、高等教育あり、實業家下二十四、財産七千圓あり、三十四以下二十三以上の不幸淑女を求む、寫眞交換妨けなし(花柳界に關係なき者) 姓名在社(二一二)

被雇 たし女年四十内地の田舎にあり讀書れば直に來る保證人あり 氏名在社(二一五)

自宅に淡玉子色の斑(去年八月生)名次郎口側及四足毛抜け居る小犬見當りし人は御一報願上候相當御禮可仕候 明治町二の七五 辯護士岩田(二一〇)

●十三歳より十八歳迄の見習弟子一名雇入れたし 明治町 中尾軍刀店(二一六)

英語教授 實用會話、作文、讀書力の養成を希望の者何時にても入所を許す(但し午后七時より初む) 大和町二丁目六十八 英語研究所(二一七)

下女至急入用 廿四五歳より四十歳位迄給料十圓まで 氏名在社(二一八)

新内教授 致します 京城壽町三丁目 水津(二一九)

女中入用 裁縫の心得ある者廿五歳以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町競賣所(二二〇)

清語 通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

物件部

電話 貸したし 氏名在社(二二三)

電話 賣りたし 氏名在社(二二四)

自轉車 一臺買受たし 氏名在社(二二二)

電話格安 に讓りたし 社内 中村

床屋讓渡 したし 氏名在社(二二二)

廣告

待合 花

京城南山町一病院前

電話一〇二五番

松丸太、輕便レール枕木各種荷着

御用の方は御一報次第店員御伺ひ申候

京城南大門外屯之坊萬月里 日韓物產商會 小曾根錄造

▲清潔の下宿

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路 (元 花屋 跡)

▲懇切の下宿▼ かめ屋

假營業所廣告

弊店儀今般改築に着手致候間當分諸中筋向へ林田交換所内に於て假營業仕候間不相變御愛顧御用命の程奉冀上候

追て電話六十五番を當分使用致候

各國時計並に美術品 京城本町二丁目 商田中時計店

立雛

白酒荷着仕候

肥

韓國京城本町四丁目 前田商店 (電話百三十七番)

米 東京火災保險會社

明治廿年七月創立

資本金一千萬圓

●京城代辨店 山口呉服店 電話九番

●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

貨物運送取扱 危險擔保附運送 稅關貨物取扱 貨物引換金付 品代 諸發行 換貨物運送

E 通 E

内國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一二番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 草梁驛前 電話六一六番 電話九三七番

龍山派出所 龍山驛構内 電話二〇六番

直輸入

リノリーム各種

リノリ油類

右到着仕候間御用命下され度候

TS 京城支那領事館通り 清韓洋行 (電話四九四番)

開店五週年に付大賣出し

謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來玆に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め

三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

表具師 桂

美術書畵 襖、壁、天井張

京城壽町一丁目 桂萬吉

大阪府堺市

醇良清酒 澤亀

宅合名會社釀

電話九百〇一番

内科 婦人科 外科

電話九百〇二番

富久尾病院 京城旭町二丁目

電話開通 九九〇

京城大和町二丁目 青雲亭

◉開業◉

會席御料理 德用附一人前金五十錢

今般左記へ開業仕至極輕便御手輕に致します何卒御引立の程を

京城壽町三丁目 (中島病院前) 水津

諸傘 並に提灯類

印入 西洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 大島商店

京城曙町 (電話六八四番)

統監府御用 宮内府御用

軸物表装 金襴類 御掛物 簾張具

麗川表具店

電話開通九二八番

京城南山町四丁目 花月樓筋向ふ

作野香清園茶舖

電話開通 千五十番

京城本町一丁目 (民團役所前)

增本好三郎事務所

純良 牛乳 元祖

京城大和町一丁目 平山牧場 電話百三十三番

石炭直輸入卸小賣

●●精撰塊炭 ●●上等塊炭(海軍御用炭)

●●荒塊炭 ●●切込炭(鐵道御用炭)

弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福丹炭坑賣炭部 韓國京城南大門西側 (電話長八二九番) 合資會社 長醫商會韓國出張所

合名會社範多商會韓國代理店 大阪鐵工所韓國代理店 仁川濱町一丁目 (電話長八三三番) 合資會社 長醫商會仁川出張所

すし、うなぎ 御料理、山遊折詰

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれは皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程斯り候

明治町一丁目 松善

電話開通 九五五番

生蕎麥 壽町三丁目 東京庵

電話開通 九六九番

疊替新調表 京城壽町三丁目 (壽座前) 横井疊店

電話開通 一〇四二

牛豚雞肉 京城明治町一丁目 石田精肉店

京城南大門通三丁目 起業會社筋向

高等待合 紅葉

設備の不行届と客室の清潔ならざるは場所の適當なると御愛顧とを以て償ひ得て餘りありと存候

當銀行儀本月十日ヲ以テ百三十銀行ト合併シ當店ヲ株式會社百三十銀行京城支店ト改稱引續營業可致ニ付舊御引立相願度此段廣告候也

明治四十二年四月

株式會社第五十八銀行 京城支店

明治四十二年四月十日兩銀行合併ヲ決行シ第五十八銀行ハ當日ヲ以テ解散ス爾後百三十銀行ノ資本金ハ五百萬圓ニテ本支店出張所ハ左ノ如シ

株式會社 百三十銀行

株式會社 第五十八銀行

百三十銀行 堀江支店 難波支店 南支店 安治川支店 西濱出張所 住吉出張所 平野支店 茨木支店 西陣支店 福井支店 鯖江出張所 舞鶴支店 新舞鶴出張所 小倉支店 行橋支店 中津支店 博多支店 若松支店 八幡支店 京城支店 仁川支店 釜山支店 南浦出張所 鎮南浦 平壤出張所 安東縣出張所

大坂高麗橋通 同北堀江 同難波 同南久寶寺町 同南安治川 同西濱 同住吉 同津 同茨木 同平野 同西陣 同福井 同前鯖江 同越前舞鶴 同新舞鶴 同丹後小倉 同豐前行橋 同中津 同筑前博多 同若松 同八幡 同韓國京城 同仁川 同釜山 同鎮南浦 同平壤 清國安東縣

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●大連行(船客御斷) 新潟丸 日正午時出

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月十一日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月廿二日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月 日正午出

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月 日午後

御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ケ月前金四十五錢 ▲三ケ月 ▲六ケ月前金貳圓 ▲一ケ年

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回 ▲廣告五號活字十九字詰一行

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太郎

發行所 京城新報社 京城西署西小門通 電話六